

# かとり 議会だより

第4号

平成19年2月1日

発行 香取市議会  
編集 議会報編集特別委員会

## 本号の概要

- ☆新議員30人の紹介……………P2
- ☆市政に関する一般質問…P3～P6
- ☆選任された各委員会委員・  
組合議会議員……………P6

〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127 電話 0478(50)1217



旧1市3町合同で行われた成人式（1月7日＝市民体育館）

1月臨時会  
12月定例会

## 一般会計補正予算など9議案を可決 議長に木内誠氏 副議長に林幸安氏を選出

平成18年12月定例会は、10月27日（金）から11月14日（火）までの19日間にわたって開かれ、提出された議案6件、発議案3件は原案のとおり可決しました。また、1月19日には、合併特例法による在任特例期間満了に伴い実施された香取市初の議会議員選挙で選ばれた新議員30人による臨時会が開かれ、提出された議案8件、発議案3件を原案のとおり可決・承認しました。

### 可決した議案等の概要

#### 12月定例会

##### 補正予算

##### 一般会計

歳入歳出に1億6158万4千円を追加し、補正後の総額を277億1043万6千円とするもの。主な内容は、山田中学校の耐震・大規模改修事業費5011万5千円、大雨等による災害復旧費3819万3千円など。

##### 老人保健事業特別会計

歳入歳出に2928万1千円を追加し、補正後の総額を79億5916万6千円とするもの。

##### 農業集落排水事業特別会計

歳入歳出に185万円を追加し、補正後の総額を2億4407万1千円とするもの。

##### 条例の改正

香取市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例

在任特例期間満了後の市議会議員の報酬を、月額35万円とするもの。

佐原三菱館の設置及び管理に関する条例  
三菱館の管理運営を、指定

管理者に委託するためのもの。

##### 協議

千葉県後期高齢者医療広域連合の設置に関する協議  
75歳以上の高齢者等を被保険者とする後期高齢者医療事務を処理するため、県内全市町村で構成する医療連合を設置することの協議。

##### 意見書の提出（要旨）

郵便集配局の再編計画の撤回を求める意見書  
日本郵政公社は、集配業務を停止する統廃合を進めており、4696局の集配郵便局の3分の1を無集配局に、最終的には1088局を統廃合して統括センターに集約する計画を進めている。香取市では、栗源局の無集配化に続き、来年3月までに小見川局、府馬局の再編を進めようとしている。採算のみを重視した再編計画が実施されると、サービスの低下は避けられない。

よって、すでに実施した栗源郵便局を含めた無集配化の白紙撤回、郵便集配局の再編計画の撤回を強く求める。

##### 提出先Ⅱ内閣総理大臣、総務大臣

県道整備の早期実施を求める意見書  
県道佐原橋海線と県道佐原八日市場線は、香取市の最重要道路に位置付けられる。しかし、県道佐原橋海線は全線にわたって道路幅が狭く、大型車のすれ違いが困難な箇所もある。また、県道佐原八日

### 就任のあいさつ



林副議長



木内議長

このたび私どもは、議員各位のご推挙により議長並びに副議長の要職に就くことになりました。誠に身に余る光栄であり、責務の重大さを痛感いたしております。香取市が誕生して9カ月

余りが経過いたしました。本市を取り巻く環境は大変に厳しい状況にあります。合併後も依然として厳しい財政状況を改善するための行財政改革の推進、少子高齢化社会を迎えるための福祉の充実、医師確保による地域医療体制の整備、企業誘致による定住人口の増加促進等、課題は山積しております。

本市議会といたしましては、旧市町の融和に努めながら、これらの課題に懸命に取り組み、市民の声を行政に反映させてまいりたいと存じます。

市民の皆様におかれましては、今後とも御理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### 1月臨時会

##### 補正予算Ⅱ専決処分承認

##### 一般会計

##### 国民健康保険事業特別会計

##### 介護保険事業特別会計

##### 居宅介護サービス事業特別会計

##### 農業集落排水事業特別会計

##### 観光事業特別会計

##### 下水道事業特別会計

##### いずれの会計も、主に職員

##### の人事異動に伴う支出科目間の調整を行うためのもの。

##### 人事

##### 監査委員の選任

議会選出の監査委員として、堀越博氏の選任に同意。

# 市民と市政をつなぐ新議員

## 選ばれた30人の紹介



高木 寛  
野田101



高木 典六  
川上649



鈴木 聖二  
佐原イ484



奥村 雅昭  
佐原イ2854



田代 一男  
大崎45-4



谷田川充丈  
佐原口2129-55



菱木 康夫  
府馬3183-5



眞本 丈夫  
小見川4866-494



高岡 正剛  
富田912



田山 一夫  
佐原イ167-16



鈴木 和彦  
府馬2310



林 信行  
小川829



林 幸安  
上小堀1240



坂本 洋子  
牧野2167-10



柳田 俊秀  
中洲76



久保木宗一  
津宮4170-6



伊藤 友則  
吉原399



坂部 勝義  
石納439



増田 一男  
下小堀617



小川 春雄  
阿玉川329



河野 節子  
小見川1025



金親 孝夫  
小見川219



宇野 功  
阿玉台1362



吉川 昭治  
一ノ分目1113-1



宇井 正一  
大角1755



木内 誠  
新里907



根本太左衛門  
谷中1014



堀越 博  
苧毛567



片野 政昭  
佐原イ68-2



平松大建明  
観音1025-2

# 市政に関する一般質問

12月定例会の一般質問は、11月8日から10日までの3日間行われました。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

## 市営循環バス運行の進捗状況は

吉川昭治議員

問 市営循環バス運行の進捗状況について説明願いたい。

答 公共交通体系検討委員会を立ち上げ、全市のな交通体系を総合的に検討していきたい。

問 大倉新田の市道十六島80号線高速道路付近の安全対策について説明願いたい。

答 本市にとって重要な幹線道路であり、整備・改善に向け関係機関と協議を続けたい。

問 利根川左岸富田新田の利根川堤防の絞り水対策と、これに伴う道路整備について説明願いたい。

答 本年12月に着工の見込みとなった。道路整備は、同様の事例を参考に、誠意を持って対応していききたい。

問 小見川区保健センターの建設は合併協議会で合意されているが、この進捗状況について説明願いたい。

答 市民ニーズに合致した在り方を検討し、財政状況を踏まえながら適正な規模や設備を考えていきたい。

問 一ノ分目青年館付近を流

れる「一ノ分目流川」と阿玉川を流れる「玉川」の氾濫防止対策と、安全配慮義務について説明願いたい。

問 指名入札で、指名入札回数が多い業者と市議会議員との関係は、地方自治法第92条の2の兼業禁止に抵触しないか。

答 請負禁止は議員個人であり、家族は含まれないとされている。登記簿上、議員は役職に就いていないことから、抵触しないと判断する。

問 2学期制による秋休みに、希望する公立・私立の受験校は、冬休み前に出そうとするが、受験生である中学3年生にとっては、その通知表が大

事な評価となる。そして、この時期に行う面談は、公立・私立の受験校を選ぶために非常に大切なものとなるが、通知表配付の前後に、二者または三者面談が全中学校で実施されたのか。また、面談の実施時期は市内で統一されているのか。

問 希望する公立・私立の受験校は、冬休み前に出そうとするが、受験生である中学3年生にとっては、その通知表が大

事な評価となる。そして、この時期に行う面談は、公立・私立の受験校を選ぶために非常に大切なものとなるが、通知表配付の前後に、二者または三者面談が全中学校で実施されたのか。また、面談の実施時期は市内で統一されているのか。

## 市職員としての自覚は

高橋 成議員

問 地方公務員法第30条では「すべて職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、且つ、職務の執行に当たっては、全力を挙げてこれに専念しなければならない」とされている。

答 本市の条例では、任命権者または任命権者の定める上級の公務員の面前において、宣誓書に署名することとなっている。

問 採用後の職員の教育・指導は、

答 採用後、新任職員共同研修会に参加させ、地方公務員に必要とされる基礎的知識を習得させるとともに、職員としての心構えと職場への適応力を養わせている。

問 管理職に対する指導の現状は、

答 管理職の役割や新時代の地方行政の知識等を習得するための自治専門校主催の課長

## 受験生の面談について

伊藤友則議員

問 希望する公立・私立の受験校は、冬休み前に出そうとするが、受験生である中学3年生にとっては、その通知表が大

事な評価となる。そして、この時期に行う面談は、公立・私立の受験校を選ぶために非常に大切なものとなるが、通知表配付の前後に、二者または三者面談が全中学校で実施されたのか。また、面談の実施時期は市内で統一されているのか。

問 希望する公立・私立の受験校は、冬休み前に出そうとするが、受験生である中学3年生にとっては、その通知表が大

事な評価となる。そして、この時期に行う面談は、公立・私立の受験校を選ぶために非常に大切なものとなるが、通知表配付の前後に、二者または三者面談が全中学校で実施されたのか。また、面談の実施時期は市内で統一されているのか。

問 希望する公立・私立の受験校は、冬休み前に出そうとするが、受験生である中学3年生にとっては、その通知表が大

事な評価となる。そして、この時期に行う面談は、公立・私立の受験校を選ぶために非常に大切なものとなるが、通知表配付の前後に、二者または三者面談が全中学校で実施されたのか。また、面談の実施時期は市内で統一されているのか。

問 希望する公立・私立の受験校は、冬休み前に出そうとするが、受験生である中学3年生にとっては、その通知表が大

事な評価となる。そして、この時期に行う面談は、公立・私立の受験校を選ぶために非常に大切なものとなるが、通知表配付の前後に、二者または三者面談が全中学校で実施されたのか。また、面談の実施時期は市内で統一されているのか。

## 地域医療の充実について

永澤昭二議員

問 環器科が機能しないということとは、地域医療の核となる病院の役割が果たせないということではないか。

答 市・市・県立佐原病院・小見川総合病院による協議会を発足させ協議している。また、県知事並びに県病院局長と面談し医師確保をお願いしており、県でも医師確保のためさまざまな方策を行って

いる。今後も最大限の努力を続ける。

問 本市には、若者にとって魅力のある仕事がないのが現状である。この状況を改善するため、市が主体となって産業推進プロジェクトを立ち上げ、若者が将来にわたって住み続けられるまちづくりを

目指すべきではないか。

答 魅力ある企業の誘致の必要性は痛感しており、そのための条例制定の準備を進めている。また、市のホームページに事業者向けの工場遊休地・貸し工場・貸し倉庫情報を掲載しているほか、大型出店者に地元住民の採用を要請している。今後も、民間や関係機関と連携しながら取り組みを強化していきたい。

問 下小野地区のJA佐原の農薬漏洩問題では、市として県に対し一日でも早く撤去するよう要望してもらいたい。

答 地域住民の安全を守るため、今年度中の早い時期での撤去を目指し関係機関と協議を行っている。

## 子育て支援の充実とまちづくりについて

小川春雄議員

問 放課後児童クラブと保育所の延長保育において、市内の小学生・保育園児は皆が平等にサービスを受けられる環境をつくるべきではないか。

答 放課後児童クラブについては、4歳・5歳の子供を持つ保護者を対象に行ったアンケート調査の結果を踏まえながら、全市的観点で検討していきたい。延長保育は、来年度から市内の全公立保育所で午後6時まで行うべく検討を始めた。

問 ユニバーサルデザインのまちづくりと市内の駅舎に対する取り組みは、

答 全庁的対応で取り組んで

いききたい。佐原駅は、本年度から5年間で駅舎や駐輪場の整備等を実施していく。小見川駅前周辺整備事業は、新市建設計画で平成20年度からと位置付けられている。市内の他の4駅については、JRに

対し改修を要望している。問 今後の本市の介護保険と介護の在り方、および介護予防サービスの充実をどのように図っていくのか。

答 制度改正後の影響がなるべく少なくなるよう支援策等を検討していきたい。介護予防のための筋力トレーニングについての需要を調査し、整備を検討していきたい。



農作業風景 (さつまいもの収穫)

# 農業は地域活性化の基本

小林康良 議員

問 農業予算は農業の振興が目的であるが、衰退傾向にあるのは予算編成に問題があるからではないか。農業の多目的役割、諸問題解決には、経営規模を問わず生産経費等に直接助成し、経営安定を図る制度をつくるべきではないか。

答 今後の持続的な農業の発展のためには、小規模な分散農地による非効率な個人営農から、農地を一つにまとめた集落営農による効率的な経営を目指す必要がある、その手助けをするのが行政の役割と考える。

問 教育改革が学力低下等のさまざまな問題を引き起こしている。2学期制も住民の意向が軽視され導入されようとしている。説明資料も不適切であり、担当課の怠慢ではないか。

答 各学校では、既に実施済みの佐原区等の状況をもとに研究を行い、保護者会等へも説明してきている。配付した資料で片方は「検討」、もう片方は「準備」と表現に違いがあった点は反省しており、今後は十分注意したい。

問 市民の行政への不信任は根深いものがある。議員等に

## 市単独の圃場整備を

高木 仁 議員

問 国・県の補助をもらって圃場整備の事業費は一反歩当たり150万円程度であり、その10%を受益者と自治体が負担しているが、現在は金のかからない必要最小限の整備が求められている。赤道・青道の有効利用はできないか。また、用水路をパイプライン化して農道の拡張はできないか。

答 農地が利用集積され、農作業の効率が上がるものであるため、地域関係者の十分な理解を得るとともに、今後の国の動向を見極めながら検討していきたい。パイプライン化は、地権者および関係土地改良区の同意が得られれば可能と考える。

問 費用対効果の面から、ポットトラジ型の防災行政無線受信機を導入してはどうか。

答 既存の受信機より若干聞き取りにくい面はあるが、持ち運び可能で価格が5分の1程度というメリットがあるため、導入可能か調査・試験を

よる地位を利用しての工事請負、幹旋口利き、職員採用に当たつての幹旋等、疑惑を持たれることがないようにするため、政治倫理条例を制定する必要があると思うが。

答 市議会議員と市執行部が対象であり、議員の総意による判断が重要となるため、議会内で十分検討願う必要がある。市としては、議会側と歩調を合わせ検討していきたい。



耕思文庫

問 10月6日の大雨で、山田区の古内地区で土砂崩れにより民家が押しつぶされた。危険だが急傾斜地崩壊対策の対象とはなっていない地域の安全・安心をどのように図っていくのか。

答 制度の必要性・重要性を勘案し、国・県の災害対策等の情報を集めながら、新しい形のものをつくるべく検討していきたい。

問 山田区の公民館の一室に耕思文庫がある。有効利用す

るための方策は。

答 図書館職員が内容を整理・精査したうえで、より多くの

## 全小学校区での放課後子供教室について

栗田八郎 議員

問 文部科学省と厚生労働省は来年度から、放課後や週末に児童を預かる「放課後子ども教室」を全小学校区でスタートさせる。本市のこれまでに今後の取り組みは。

答 放課後児童クラブは6カ所、地域子供教室は小見川区の5小学校で行われている。今後、保護者に対するアンケートを実施するとともに、プラン策定や活動内容、ボランティア等の指導者の確保について協議・検討していきたい。

問 日本人女性がかかるがんの内、最も多いのは乳がんであるが、早期発見、適切な治療を行えば生存が可能となる。

答 市で実施している検診の受診状況と、ピンクリボン運動等の啓発活動への取り組みは。

問 学校における「いじめ」に対する教育委員会への報告システムは整っているか。

答 「いじめ」のみのシステムはない。今後、マニュアルの策定を検討していきたい。

問 合併前の1市3町を含め、本市では過去5年間にいじめについての報告はあったか。

方々利用していただけるよう設置場所等を検討していきたい。

問 今年度は、佐原区1759人、小見川区1624人、山田区648人、栗源区277人が受診している。早期発見・早期治療のための啓発は重要であり、啓発活動への取り組みを検討していきたい。

問 法律トラブルに直面した人の問題解決への道案内となる「法テラス」が、平成18年10月からスタートする。公正なルールに基づく問題解決を国民に選んでもらう総合的な法律支援制度であるが、法的トラブルから市民を守るため、この制度を周知徹底すべきと考えるが。

答 国民の基本的な権利と生活を擁護に深くかわるものであるため、広報紙等により広く市民に周知していきたい。

問 佐原区を除く3区の住民は、ごみ収集運搬処理にかかる費用の一部(小見川・山田区は月540円、栗源区はごみ袋1枚当たり25円)を負担しているうえ、佐原区の手数料までも負担している。合併し予算が一本となった今、公平・公正性の観点からも、新年度予算策定までに有料化を含め、ごみ袋料金の統一を図るべきではないか。

答 ごみの排出・収集運搬体制、指定ごみ袋制度、収集処理手数料について、平成20年度を目途に統一すべく、ごみ処理を行っている北総西部衛生組合・香取市東庄町清掃組合・香取市東庄町事務組合および構成市町で香取地域一部事務組合再編プロジェクトチームを設置し協議を行っている。

## いじめへの対応状況と水防対策について

眞本丈夫 議員

問 過去5年間、旧1市3町で合計127件発生している。教師への教育・指導は実施されているか。また、保護者や児童・生徒を対象にアンケート調査等を実施したことはあるか。

答 県教育委員会が開催した「いじめ対策緊急会議」を受

け、各学校に緊急課題を提示するとともに、臨時校長会を開催し、取り組みについて再確認した。調査はまだ実施していない。

問 不登校の児童・生徒の実態把握とその対応は。

答 不登校は39名いる。情報を共有化し、連携して指導・対応に努めたい。

問 最近、局地的豪雨等の気象異変が各地で発生しているが、本市の水防計画の整備と水防対策事業の推進状況はどのようになっていくか。

## 早急に栗源区と佐原区のごみ袋料金の統一を

奈良律子 議員

問 水害避難訓練は、住民も参加して実施されているか。

答 水害を想定した避難訓練は実施したことがない。今後、協議・検討したい。

問 黒部川下流を定期的に浚渫しているが、恒久的な対策事業を起こしてもらいたい。

答 県に確認したところ、現時点では長期的計画はないとのことである。

問 タウンミーティングは、直接、市長や執行部と対話ができる大変好評であり、また、要望内容によってはすぐに解決しているものもある。このことで、参加者からは活発な質問・意見が出されている。しかし、現在実施されているのは佐原区のみである。合併による不安を解消するためにも、市部と町部で交互に実施すべきではないか。

答 特にこれといった意味があつて決めたものではなく、来年度のタウンミーティングの日程等を決める際には、今年度の反省点を踏まえて検討したい。なお、今年度の今後の日程は、1月後半から小見川、山田、栗源の順で開催する予定となつているが、交互に開催するよう日程変更を検討したい。

問 合併前の1市3町を含め、本市では過去5年間にいじめについての報告はあったか。

答 県教育委員会が開催した「いじめ対策緊急会議」を受

け、各学校に緊急課題を提示するとともに、臨時校長会を開催し、取り組みについて再確認した。調査はまだ実施していない。

問 不登校の児童・生徒の実態把握とその対応は。

答 不登校は39名いる。情報を共有化し、連携して指導・対応に努めたい。

問 最近、局地的豪雨等の気象異変が各地で発生しているが、本市の水防計画の整備と水防対策事業の推進状況はどのようになっていくか。

# 環境保全か開発か

伊能敏雄議員

問 都市計画法で定められた佐原区の風致地区は、ここまでも指定地域かと思われる場所があるなど、本来の趣旨とは違ったものとなっている感がある。バランスのとれた開発は重要だが、現況に合っていない指定地域については一部解除を考へるべきではないか。佐原の開発の阻害要因になっていると思料する。

答 過去に2度、見直しについて協議がなされたが、都市計画決定には至っていない。過去の経過から見ても、一部あるいは全部を解除することは大変困難であるが、土地の用途や生活様式の変化などで現状にそぐわなくなっている状況も見受けられるため、都市マスタープラン検討中の課題としたい。

入すべきものであり、各区のバランスを考慮しながら是正していききたい。

問 学校医・薬剤師の報酬については、県レベルに合わせる必要があると考へるが、市の対応は。

答 現時点で判断はできないが、今後検討したい。

# 格差のない地域づくりについて

宇井勝美議員

問 避けては通れないとの説明のもと合併に同意したが、住民の間には市域が広くなりすぎて周辺部が寂れてしまっているのではないかと不安がある。平等の趣旨に則った地域格差のないまちづくりが新生香取市の基本であり、合併の合意事項に反する偏った行政運営は許されない。しかし、住民の間からは不満の声が聞かれる。各自治区には地元業者があるにもかかわらず、他区の業者にもかかわらず、他区業者者に依頼した事実があるのはなぜか。

答 新市名への変更に伴う看板類については、合併前に準備する都合上、平成17年度に各市町で発注しており、今年度は佐原区交通安全啓発用の立て看板のみである。印刷製本費の中の広報紙について

は、合併協議の中で検討・協議の結果、プロポーザル方式により成田市の業者に決定された。需用費は、今年度は持ち寄り予算であるため、従来どおり旧市町に配分されている。

問 道路の整備状況が市のイメージを左右すると思われる現状においては、新設道路も大切だが、既存道路の危険箇所を早急に改善すべきと考へるが。

答 県道佐原八日市場線は、佐原区と栗原区・山田区を結ぶ主要幹線道路であり、その危険箇所である大根地先の整備については、これまで県に

対し要望してきているが、今年度中の整備予定はない。今後引き続き県に對し要望していききたい。

# 治水問題に早期対応を

金親孝夫議員

問 台風や集中豪雨等により浸水被害が発生したり、道路

が冠水したりする地域や場所をどのように把握しているの



市民レガッタ

3町で行われてきたスポーツイベントに對する新市の取り組み方針は。  
答 野球場7面、少年野球場4面、体育館5カ所、テニスコート20面、多目的広場2面、トレーニングルーム2室がある。現在、さまざまなスポーツ大会や教室を実施しており、今後も幅広い年代の市民が健康増進や体力向上を目指してさらにスポーツに取り組めるよう、場所と機会の充実に努めていききたい。

問 飛行高度引き下げによる騒音調査の継続と、要望の出ている閑地区の騒音調査を。  
答 引き続き実施するよう要望していききたい。要望書の内容は成田国際空港株式会社に伝えてあり、対応済みと聞いている。

問 自宅でも敬老祝記念の写真撮影が出来るよう改善を。  
答 各区で実施してきた敬老祝事業を総合的に見直す中で検討していききたい。

# 合併による住民サービス 後退の見直しは

佐藤好文議員

か。また、今後の市の対応は。  
答 床下浸水以上の恐れがあるのは、佐原区863戸、小見川区350戸、山田区28戸、栗原区2戸であり、これに隣接する道路が冠水する恐れがある。現在、平成20年度までの予定で、小見川区の新浜排水施設整備事業を実施している。

問 旧小見川町では長年、カー、ポット競技等の水上スポーツに力を入れてきた。新市でも7月に「第1回香取市民レガッタ」が開催されたが、市のスポーツ振興策の中での水上スポーツの位置付けと今後の方針は。  
答 新市建設計画の中で主要施策の一つに位置付けられており、今後も一層推進していきたい。

問 学校給食センターの再編計画は。また、栗原区では兼務職員1名のみ配置となっているが、事故が起きた場合に対応ができない。増員の検討は。  
答 できる限り早期に再編・統合を進めたい。勤務状況を調査し、適切に対応していきたい。

問 新たに計画する事業を市全体の計画と整合させながら、総合計画に反映させていきたい。  
問 流末排水の未整備地域である上の台、受所、九美上、助沢、伊地山、東野地区の現状調査と事業計画の検討はなされているか。  
答 平成13年に香取土木事務所が調査を行った結果、約4万2000平方メートルの大きな調整池が必要との報告がなされている。今後、県と協議していききたい。

# 「放課後子供プラン」で 学童保育事業の充実を

坂本洋子議員

問 児童が被害に遭う事件が増加する中、仕事と子育ての両立、地域での安全確保のための学童保育の必要性が高まっている。国の来年度の概算要求の大幅な増額をバネに、計画的に全小学校に設置すべき。

問 児童が被害に遭う事件が増加する中、仕事と子育ての両立、地域での安全確保のための学童保育の必要性が高まっている。国の来年度の概算要求の大幅な増額をバネに、計画的に全小学校に設置すべき。

問 県立佐原病院の現状回復には、県が県民の医療を守る立場で即刻動くべきである。県を動かすため市長が先頭に立ち、全市民規模の署名運動を行うよう求める。

問 本市の未舗装道路の現状、およびその解消をどのように進めるのか。  
答 未舗装率は19.75%である。路線ごとに舗装の必要性を判断し、市の発展につながるよう整備を検討していき

見極めながら整備を検討している。

問 国でも協議を続けている段階であり、まだ不明確な部分が多いが、国・県の動向を

問 市全体の総合的な排水対

い。



佐原公園

# 旧市町の事業割合を尊重した予算編成を

## 宇井正一 議員

問 山倉小学校は、平成20年度から複式学級となる可能性がある。回避のための行政指導はできないか。

答 定められた教職員定数の中で複式学級を回避するよう県教育委員会と協議したい。

問 来年度の予算編成に当たって、合併時の約束である新市建設計画で決められている旧市町の投資的経費の割合は生かされるのか。自治区要望で予算化された事業については、本庁においてカットすることはないか。

答 新市建設計画の内容を踏まえ、各自治区間のバランスを考慮していきたい。自治区からの要求を本庁でとりまとめることになるが、査定後の予算については、よほどのことがない限りカットすることはないと考える。

問 75歳以上の新医療制度が2008年4月から始まる。年金天引きで保険料が取られ、お年寄りにとっては大変な負担となる。お年寄りいじめの



山倉小学校

施策をどう考えるか。

答 老人医療費を中心に国民医療費が増大する中、これまでに各市町村が運営していた制度を改め、超高齢化社会を展望した新たな保険制度の実現

# タウンミーティングの成果は

## 濱田範雄 議員

問 現在実施されているタウンミーティングの成果は。

答 多くの質問や提言等をいただき、努力すべき点や課題等がわかるとともに、市からも料金の不均一問題等を説明して理解いただくなど、大変有意義な話し合いの場となっている。

問 本市の水田面積は県内1位であるが、耕作水田面積の変化と乾田化水田の割合は。

答 過去3年間、7000ヘクタール前後で推移している。乾田化の割合は39.4%である。

問 八筋川消防団は26年前に土地の無償提供を受け小型動力ポンプ付積載車が保管できる消防器具庫を建築したが、いまだ人力車にポンプを積載している。配備されるのはいつごろか。

答 平成17年度配備は完了しており、未配備地区については、財政面を考慮し総合的に検討することである。

問 市職員の給与は、人事院・県人事委員会の勧告のみを基準に改正されてきたのか。



タウンミーティング

を目指すものである。

問 第一山倉小学校区、八都第二小学校区を含めた旧山田町全体をカバーする学童保育の体制はできないか。

答 入所希望の状況を踏まえ、現在の放課後児童クラブの定員見直しをはじめ、各小学校からの児童の輸送方法や民間保育園での受け入れ等、来年度に向け対応を検討したい。

問 人事院、人事委員会の勧告に準じて見直すようにとの指導に基づき改正している。

問 佐原区の学校給食センター改築に当たり、米飯給食を100%実施する計画は。

答 ささまざまな食文化を教えることも学校給食の目的の一つであり、バランスのとれた献立を考えていきたい。

問 合併特例債を使い、佐原榑海線と佐原八日市場線の間の東関東自動車道に、カード利用できるインターチェンジを作ることはできないか。

答 今後設置される他地域での費用対効果等を参考に、必要性を検討したい。

# 選任された各委員会委員・各組合議会議員

## 総務企画常任委員会

- |      |      |
|------|------|
| 委員長  | 金親孝夫 |
| 副委員長 | 河野節子 |
| 委員   | 鈴木聖二 |
| 委員   | 鈴木信行 |
| 委員   | 田山一夫 |
| 委員   | 菱木康夫 |
| 委員   | 林幸安  |
| 委員   | 宇野功  |

## 福祉環境常任委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 高岡正剛  |
| 副委員長 | 片野政昭  |
| 委員   | 谷田川充丈 |
| 委員   | 田代一男  |
| 委員   | 奥村雅昭  |
| 委員   | 高木典六  |
| 委員   | 坂本洋子  |
| 委員   | 木内誠   |

## 経済教育常任委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 伊藤友則  |
| 副委員長 | 小川春雄  |
| 委員   | 眞本丈夫  |
| 委員   | 眞本丈夫  |
| 委員   | 久保木宗一 |
| 委員   | 増田一男  |
| 委員   | 平松大建  |
| 委員   | 堀越博   |

## 議会運営委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 坂部勝義   |
| 副委員長 | 眞本丈夫   |
| 委員   | 林信行    |
| 委員   | 田山一夫   |
| 委員   | 久保木宗一  |
| 委員   | 河野節子   |
| 委員   | 平松大建   |
| 委員   | 根本太左衛門 |

## 議会報編集特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 柳田俊秀  |
| 副委員長 | 田代一男  |
| 委員   | 谷田川充丈 |
| 委員   | 高木寛   |
| 委員   | 眞本丈夫  |
| 委員   | 菱木康夫  |
| 委員   | 宇野功   |
| 委員   | 小川春雄  |

## 香取広域市町村圏事務組合議会議員

- |      |
|------|
| 田代一男 |
| 林信行  |
| 高岡正剛 |
| 坂部勝義 |
| 柳田俊秀 |
| 増田一男 |
| 木内誠  |

## 香取市東庄町清掃組合議会議員

- |       |
|-------|
| 林信行   |
| 田山一夫  |
| 高岡正剛  |
| 菱木康夫  |
| 久保木宗一 |
| 吉川昭治  |
| 小川春雄  |

## 香取市東庄町病院組合議会議員

- |      |
|------|
| 鈴木聖二 |
| 高木寛  |
| 高岡正剛 |
| 鈴木聖二 |
| 眞本丈夫 |
| 菱木康夫 |
| 坂部勝義 |
| 林信行  |
| 宇野功  |
| 金親孝夫 |
| 河野節子 |
| 宇井正一 |

## 建設常任委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 柳田俊秀   |
| 副委員長 | 高木寛    |
| 委員   | 鈴木和彦   |
| 委員   | 坂部勝義   |
| 委員   | 吉川昭治   |
| 委員   | 根本太左衛門 |
| 委員   | 宇井正一   |

## 成田国際空港対策特別委員会

- |      |      |
|------|------|
| 委員長  | 田山一夫 |
| 副委員長 | 菱木康夫 |
| 委員   | 田代一男 |
| 委員   | 鈴木聖二 |
| 委員   | 高木典六 |
| 委員   | 鈴木和彦 |
| 委員   | 眞本丈夫 |
| 委員   | 吉川昭治 |

## 北総西部衛生組合議会議員

- |        |
|--------|
| 奥村雅昭   |
| 伊藤友則   |
| 久保木宗一  |
| 柳田俊秀   |
| 根本太左衛門 |

## 香取市都市計画審議会委員

- |       |
|-------|
| 谷田川充丈 |
| 高木寛   |
| 宇野功   |
| 金親孝夫  |
| 小川春雄  |